

第23回建設業経理士1級財務諸表 解答速報

〔第1問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

費用配分の原則は、資産の取得原価を、所定の方法に従い☆、その使用期間にわたり費用として計画的・規則的に配分することを要請する規範理念をいう☆。この原則において適用される範囲は、いずれ費用化される資産☆、いわゆる棚卸資産、有形固定資産、無形固定資産等の費用性資産に適用し、売掛金、受取手形などの貨幣性資産には適用されない☆。

問2

費用配分の原則が企業会計上重視されるのは、この原則が、損益計算書と貸借対照表の両財務諸表に関係しているからである☆☆。つまり、費用配分の原則を適用することによって、費用性資産への支出額のうち当期分に配分される部分と、次期に繰越される部分とに分けられることになる☆。当期分に配分される部分は、当期の損益計算書に、売上原価や減価償却費等の科目で計上されることになり、次期に繰越される部分は、貸借対照表に当該資産の価額で計上されることになる☆。このように両財務諸表が費用配分の原則を通じて関係することで、適正な期間損益計算が行なえ、利害関係者に対して適切な財務諸表の開示が行なえることにもなる☆☆。

予想採点基準

☆…2点×10=20点

☆の前の文の内容が正解
で得点

〔第2問〕

記号(ア～タ)

1	2	3	4	5	6	7
サ	イ	ソ	キ	ア	ス	タ

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆… 2点×7=14点

〔第3問〕

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5	6	7	8
A	B	B	B	A	A	B	B

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆… 2点×8=16点

〔第4問〕

記号(ア～ス)も必ず記入のこと

	借 方			貸 方			
	記号	勘定科目	金額	記号	勘定科目	金額	
問1	カ	リース資産	21,600,000	サ	リース債務	21,600,000	☆
問2	サ	リース債務	2,160,000	ア	現金預金	2,400,000	☆
	ウ	支払利息	240,000				
問3	ク	減価償却費	2,160,000	シ	減価償却累計額	2,160,000	☆
問4	ク	減価償却費	1,620,000	シ	減価償却累計額	1,620,000	★

予想採点基準

☆… 4点×3=12点

★… 2点×1=2点

〔第5問〕

精 算 表

(単位：千円)

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	22,410						22,410	
受取手形	30,000						30,000	
貸倒引当金		1,200		1,800				3,000
未成工事支出金	203,190		4,000 160 1,150	208,500			0	
機械装置	40,000			4,800			★ 35,200	
機械装置減価償却累計額		8,000		4,000				12,000
土地	16,000						16,000	
投資有価証券	2,300			250			2,050	
買建オプション	120		230				350	
その他の諸資産	19,520						19,520	
工事未払金		13,400						13,400
未成工事受入金		136,000	136,000					0
完成工事補償引当金		130		1,150				★ 1,280
借入金		5,000						5,000
退職給付引当金		4,200		820				★ 5,020
その他の諸負債		11,970						11,970
資本金		150,000						150,000
資本準備金		11,000						11,000
利益準備金		9,000						9,000
繰越利益剰余金		4,800						4,800
雑収入		3,160				3,160		
販売費及び一般管理費	22,430		660		23,090			
その他の諸費用	1,890		50		1,940			
	357,860	357,860						
機械装置減損損失			4,800		4,800			
貸倒引当金繰入額			1,800		★ 1,800			
その他有価証券評価差額金			150				★ 150	
繰延ヘッジ損益				138				★ 138
繰延税金資産			100 440				540	
繰延税金負債				92				92
完成工事未収入金			120,000				★ 120,000	
完成工事高				256,000		★ 256,000		
完成工事原価			208,500		★ 208,500			
未払費用				50				★ 50
未払法人税等				8,052				★ 8,052
法人税、住民税及び事業税			8,052		8,052			
法人税等調整額				440		440		
			486,092	486,092	248,182	259,600	246,220	234,802
当期(純利益)					★ 11,418			11,418
					259,600	259,600	246,220	246,220

※ 0の記入は省略しても可。

平成30年9月(第24回)試験向け 建設業経理士 WEB 講座

合格に必要な十分な知識・テクニックを実力派講師(全員、1級建設業経理士)から効率的に学べるカリキュラムをご用意しています。

忙しい方でも安心して学べるネットスクールのWEB講座で、平成30年9月に実施される第24回建設業経理士試験の合格を目指しましょう!

ネットスクールの「建設業経理士WEB講座」の魅力!

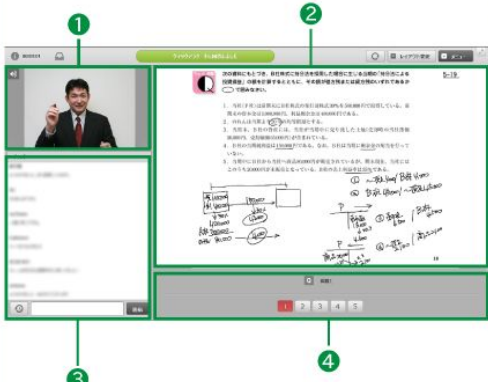
分かりやすい講義とサポートで初めての方でも安心

実力派講師の「理解できる」講義で、合格に必要な知識をお届け。オンデマンド配信なので、何度でも見直して復習も可能。また、受講生専用SNS「学び舎」やメール・電話でご質問もできます。

理論問題の添削サービスで、記述問題対策もバッチリ!

1級の学習で皆さんが最も不安に感じる第1問の記述問題は、とにかく書いて誰かに読んでもらうのが効果的な対策です。ネットスクールでは皆さんが書いた記述問題の解答を添削し、アドバイスを行います。

講義画面はこんなにすごい!



- 講師画面**
講師が直接講義をします。臨場感あふれる画面です。
- ホワイトボード**
板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ」や「資料」に講師が書き込んだりします。もちろんプリントアウトもできます!
- チャット**
講師へのメッセージはいつでもどうぞ! 質問はもちろん、「今のところもう一度説明して!」などのご要望もOKです。
- アンケート回答ボタン**
講師からの「今のところわかりましたか?」や「皆さんに聞きますね」などの問いかけに使います。

スマホ・タブレットにも対応

ネットスクールのWEB講座は、スマホやタブレットでも受講可能。

それに合わせて、30分程度で受講できるよう講義を組み立てています。これにより、「自宅で学習した講義を翌日、外出先で復習する」といった学習スタイルも可能になりました。



スマートフォン(iPhone・Android)での視聴画面
※講師画面・ホワイトボード画面が別々の画面で表示されます。

■標準コースと料金のご案内■ ※この他、基本講義を除いた「直前対策コース」も試験直前期に開講予定です。

級・科目	基本講義	過去問ゼミ	予想・質問会	とおる模試	担当講師	受講料金 (教材・税込み)	
2級	13回	3回	1回	1回	桑原知之	¥31,200	
1級	財務諸表	12回	5回	1回	1回	藤本拓也	¥42,500
	財務分析	8回	5回	1回	1回	藤本拓也	¥37,400
	原価計算	8回	5回	1回	1回	藤本拓也	¥37,400
						3科目セット ¥104,000	

<注意事項>

- 上記料金は、初めてネットスクールのWEB講座をお申込頂く方で教材も一緒にお申込頂く場合の料金です。最新版の教材を既にお持ちの方には「教材別」のコース、過去にネットスクールのWEB講座をお申込頂いた方には「受講生割引」や「再受講割引」を設定しております。詳しくはネットスクールホームページにてご確認ください。お問い合わせ下さい。
- お申込みにあたっては、ホームページにて視聴環境を必ずご確認ください。

★建設業経理士WEB講座 無料説明会のお知らせ★

【2級編】3月16日(金) 20:00~

【1級編】3月13日(火) 20:00~

詳細はネットスクールHPへ